東京カンテイ、首都圏の "2013 年新築マンション PER" を発表

首都圏平均は 23.98、収益力は 2012 年の 23.83 から 0.15 ポイント低下

新築マンション価格の上昇傾向が主要因 月額賃料も緩やかな上昇基調を示す

2013 年の新築マンション PER は首都圏平均で 23.98 と、 昨年から 0.15 ポイント上昇 (悪化)した。平均賃料 (70 ㎡換算) が 167,685 円 (前年比+0.1%)と僅かに上昇し たのに対し、新築マンションの平均価格 (70 ㎡換算)も 4,789 万円 (同+0.8%)と3年ぶりに上昇したことで、昨 年に引き続き収益性がやや悪化した。2011 年には

首都圏 新築マンションPER推移(各値は対象駅から算出した平均値)									
	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年				
マンションPER	25.40	25.18	23.75	23.83	23.98				
70㎡価格(万円)	4,726	4,820	4,814	4,749	4,789				
70㎡賃料(円/月)	157,099	160,205	170,512	167,465	167,685				
近畿圏PER(参考)	26.37	25.22	25.17	24.42	23.94				
中部圏PER(参考)	23.33	24.46	24.93	23.74	24.20				

2009 年比で 1.65 ポイント収益性が改善したが、その後はマンション価格の上昇で収益性が低下しつつある。

●「川崎」の PER ランキングが 10 位→1 位に上昇、値ごろ感のある新築マンション供給による価格下落が寄与

首都圏でマンション PER が最も低かった(収益性が高かった)駅は「川崎」の 15.61 であった。良好な交通・生活利便性を有し、さらに値ごろ感のある新築マンション供給で価格が昨年調査から下落(3,555 万円→3,130万円)し、順位を10位から押し上げた。ランキング上位には「西のターミナル駅周辺に位置し、良好な行り、東江、北半を維持する駅や、「越谷レイクタウン」「海浜幕張」など月額賃料が15万円未満でも新築マンションが比較的安価に販売されたことで良好な収益性を示す駅も見られる。

マンション PER が最も高かった(収益性が低かった)駅は「溜池山王」の37.34で、「飯田橋」「半蔵門」など都心一等地に位置する駅の中には、高級物件の新規供給によってマンション PER が著しく高くなる駅が出てきている。同様に、「経堂」「洗足池」など城南〜城西エリアの人気住宅地に位置する駅でもハイグレードな新築マンションの分譲によって収益性は総じて悪くなっている。また、この他には「上尾」「新検見川」など月額賃料が10万円未満の郊外の駅も登場している。

首都圏新築マンションPER上位20駅(収益性の高い駅

順位	沿線名	駅名	新築マンション PER	70㎡価格 (万円)	70㎡賃料 (円/月)
1	JR京浜東北線	川崎	15.61	3,130	167,05
2	横浜市営地下鉄ブルーライン	伊勢佐木長者町	16.15	3,664	189,038
3	JR埼京線	浮間舟渡	16.44	3,142	159,23
4	JR常磐線	北千住	16.48	3,235	163,589
5	京王井の頭線	三鷹台	16.71	3,914	195,212
6	JR山手線	西日暮里	16.95	3,963	194,77
7	JR武蔵野線	越谷レイクタウン	17.04	2,826	138,218
8	京急本線	立会川	17.06	3,914	191,148
9	JR京葉線	海浜幕張	17.22	2,787	134,89
10	東武大師線	大師前	17.45	2,845	135,842
11	JR京浜東北線	新子安	17.63	3,309	156,460
12	東京外ロ丸ノ内線	中野新橋	17.63	4,590	216,96
13	JR京葉線	千葉みなと	17.75	2,538	119,15
14	京成本線	千住大橋	17.99	3,770	174,68
15	JR南武線	浜川崎	18.07	3,287	151,613
16	東京外ロ銀座線	浅草	18.25	4,276	195,260
17	埼玉高速鉄道	浦和美園	18.31	3,119	141,982
18	東京外口有楽町線	辰巳	18.41	4,005	181,318
19	東京外ロ銀座線	銀座	18.73	6,286	279,690
20	JR山手線	鶯谷	18.76	4,240	188,353

首都圏新築マンションPER下位20駅(収益性の低い駅)

順位	沿線名	駅名	新築マンション PER	70㎡価格 (万円)	70㎡賃料 (円/月)
1	東京外口南北線	溜池山王	37.34	13,091	292,203
2	JR高崎線	上尾	34.04	4,020	98,413
3	東急田園都市線	たまプラーザ	33.47	5,626	140,048
4	JR総武線	飯田橋	32.81	9,656	245,272
5	東京外ロ半蔵門線	半蔵門	32.72	10,177	259,238
6	京王井の頭線	池ノ上	32.44	7,930	203,702
7	東急田園都市線	宮前平	32.44	5,206	133,749
8	JR総武線	新検見川	31.33	2,894	76,970
9	小田急小田原線	読売ランド前	31.15	3,909	104,557
10	小田急小田原線	経堂	31.13	6,682	178,858
11	東急東横線	大倉山	31.01	5,295	142,287
12	東急田園都市線	青葉台	30.96	4,560	122,763
13	JR埼京線	中浦和	30.95	4,241	114,180
14	JR総武線	市川	30.92	5,393	145,368
15	東京外ロ東西線	行徳	30.74	4,147	112,444
16	東急池上線	洗足池	30.64	6,499	176,774
17	JR武蔵野線	東浦和	30.24	3,714	102,355
18	JR東北本線	東鷲宮	30.22	2,481	68,404
19	小田急小田原線	町田	30.13	4,173	115,425
20	JR京葉線	検見川浜	30.08	3,274	90,711

※マンションPERの小数点第2位が同数の場合は、小数点第3位以下を参照し順位付けしている。

発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2013年10月30日(水) ※本記事の無断転載を禁じます。

2013 年

70 m価格

70 m 賃料

●東京都のマンション PER は 22.63、価格上昇によって 4 年連続収益性が悪化 安定推移に陰り

東京都の 2013 年マンション PER は 22.63 で、昨年から 0.99 ポイント収 益性が悪化した。2010 年までは 20 ポイント前後で安定推移していたが、直近にかけては緩やかな上昇傾向にある。周辺3県の 2013年マンション PER は、神奈川県 23.74、埼玉県 26.75、千葉県 25.71 となっており、東京都と埼玉県では回収期間に約 4 年の開きが生じている。埼玉県の

2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 新築マンション 東京 23 区 20.75 21.64 19.77 21.33 21.54 22.28 22.88 市市都 19.92 22.63

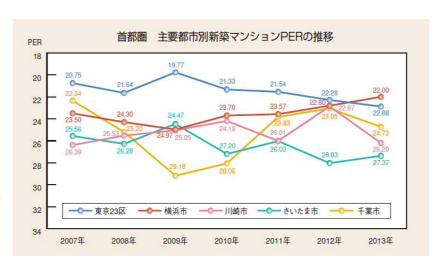
5.853 213,140 20.83 19.79 20.87 21.34 21.64 5.591 205,936 横浜市 23.50 24.30 24.97 23.70 23.57 22.80 22.00 4.011 151,927 川崎市 26,20 神奈川県 26.39 25.53 25.05 26.01 22.87 4.736 150,617 24.19 24.45 24.70 23.28 24.24 23.38 23.74 4,087 143,449 24.40 さいたま市 25.56 26.28 27.20 26.03 28.03 27.37 4.133 125.859 24.47 埼玉県 25.38 26.42 26.93 26.95 26.75 3,640 113,393 25.09 25.67 千葉 市 22.34 25.20 29.18 28.06 23.83 23.05 24.73 3,060 103,093 千葉県 26.12 25.38 26.32 22.34

月額賃料は千葉県を上回る水準であるが、JR 京浜東北線「大宮」をはじめ、JR 埼京線沿線の新築マンションは 賃料見合いではやや割高な価格で販売されており、結果的に収益性が悪くなっている。

首都圏 主要エリア別新築マンション PER の推移

●東京 23 区の収益性も 4 年連続で悪化 横浜市が 4 年連続で改善し東京 23 区を逆転

東京 23 区の 2013 年マンション PER は 22.88 となり、2009 年の 19.77 以降 4 年連続で収益性が悪 化している。都心の高額物件や湾 岸エリアの大規模タワー物件の供 給増加に伴って、賃料見合いで割 高感が強まったマンションが増加 していることが主な要因である。 対照的に、横浜市の収益性は一 次取得者向けに比較的安価な新 築マンションが多く供給されている ことで改善傾向にあり、2013 年時 点では 22.00 と初めて東京 23 区を



上回った。一方、川崎市では新築マンションの価格上昇(4,013 万円→4,736 万円)に伴ってマンション PER も 22.87 →26.20 へと3.33 ポイント悪化している。大規模タワーマンションが供給され続けている「武蔵小杉」や、近年徐々に人気が高まっている「宮前平」「元住吉」では周辺相場に比べて新築マンション価格が高めとなっており、これらの駅での供給増が収益性の悪化に影響を与えている。さいたま市のマンション PER は 2013 年時点で 27.37 と昨年から収益性が改善しているが、中期的には悪化する傾向にあり、賃料見合いではやや割高な新築マンションの供給が続いている。また、千葉市では新築マンション価格が上昇したのに対して、月額賃料は下落したことでマンションPER は 23.05→24.73 に上昇し、収益性を約 1.7 ポイント悪化させている。

●マンション PER とは

分譲マンションの価格が、同じ駅勢圏の分譲マンション賃料の何年分に相当するか求めた値。 マンション PER = マンション価格 ÷ (月額賃料 × 12)

例えば、マンション PER が 23.98 であれば、その駅の新築マンション平均価格は駅勢圏賃料相場の 23.98 年分に相当する(=賃料換算で 23.98 年で回収できる)ということになる。 一般にマンション PER が低ければ収益性が高く、反対に高ければ収益性は低い。

> 発 行 株式会社 東京カンテイ リリース日 2013年10月30日(水) ※本記事の無断転載を禁じます。